



休みに読んでほしい本 第3号

成瀬高校では毎年小冊子「夏休みに読んでほしい本」を1年生の皆さんにお配りしていますが、今回、先生方の協力を得て、そこから抜粋し、新作も含め Web 版で再開の日まで定期的にお届けすることにしました。

『友達未遂』 宮西 真冬 著

講談社

ドキッとする題名ですが、全寮制女子高の物語です。友達や友情とはそんなに単純ではないものだなあ、でも本当の友情ってやっぱり良いなあ、と思える内容です。一人ひとりの人生はばらばらでも、どこかで重なっている瞬間を大事に生きたい、成瀬高校もその場であってほしいと願います。

(保健部, 国語科 : T)

『嫌われる勇気, 自己啓発の源流「アドラー」の教え』 岸見一郎・古賀史健 共著 ダイヤモンド社

世界的ベストセラーとなった本です。ビジネス書ランキング1位も獲得しました。この本を読めば、今まで悩んでいたことが解消されると思います(アドラーの教えより)。続編は『幸せになる勇気』です。

『ビジネスモデル 2.0 図鑑』 近藤 哲朗 著

KADOKAWA

現在注目されているスタートアップ(起業)から大企業までのビジネスモデルを図解など用いたりして100個の業態を取り上げています。新たなテクノロジーやAIが普及する中、昨日まで当たり前だったビジネスが今日になって通用しなくなる。どんな仕組みをつくったら企業は生き残れるか?など、コアバリュー(企業が最も重要と考える価値観)を提供し、クリエイティブな分野もたくさん載っている本です。世の中の構造や経営者の考え方も参考になるので時間があるときにでもぜひ読んでみてください。おすすめです!!

(3 学年担任, 数学科 : Y)